

# 南三陸地区協働教育研修会

(兼 第2回地域連携担当者研修会)

## 「協働教育の成果を生かしたコミュニティ・スクール」

講師：野澤令照氏（国立大学法人宮城教育大学学長付特任教授，CSマイスター）

令和3年9月24日（金） 気仙沼市立本吉公民館



【参加者からの声】※地域連携担当経験が1年未満の方から抜粋

- ・「コミュニティ・スクール」という言葉は知っていましたが、今回の研修で内容を学ぶことができました。日々の業務に追われているところもあり、負担と思うこともあります。が、「楽しい学校づくり」「地域で育てる学校」について考えていきたいと思う。
- ・「土の存在と風の存在」なるほどと思った。地域の方々と協力して子供たちのために活動できるようにしていきたいと思う。
- ・CSについて、内容やメリット、進め方など、具体的なイメージを持つことができました。
- ・地域人たち、保護者の方が地域のことを知っているし、その中で子供たちがこれからも生活していくわけなので、詳しい方に教育に加わってくださるのが良いと思う。
- ・協働教育の成果は実感がある。人との関わりは子供を成長させるし、その姿を見て、私たちが教員として成長していることを感じる。それをCSにするとしたら、という点での話はとても参考になった。
- ・夏に南三陸で野澤先生の講話を聞き、本日2度目で、話されていることが、現在の学校状況と合わせてやっと理解できたような気がする。
- ・私は中学生の親でもあり、PTA本部役員として、学校と関わり合っている。コロナで、なかなか中学校へ行く機会もないが、子供との会話から、先生方の日頃からの尽力に頭が下がる。地域の一員として、学校を盛り上げたいと改めて思った。
- ・CS導入の効果など前向きな資料が提示され、やってみいたいという気持ちが高まった。